

3学年だよ!

令和5年11月6日(月)
西東京市立柳沢中学校
第3学年 No.26

今回は、合唱コンクールのC組の作文を紹介します。

C組 E N 「合唱コンクール」

中学校生活最後の合唱コンクール、練習を始めただけのときは正直あまりやる気が出ませんでした。だけど、同じパートの友達と練習していくにつれ楽しくてやる気が出るようになりました。本番が近づくと、クラスの雰囲気も変わりみんなで練習に本気で取り組むようになりました。クラスのみんで教え合いながらする放課後の練習はクラスのきずながより深まった、とても大切な時間でした。そんな楽しい時間がなくなっちゃったのは少しさみしい気がします。



結果、3年C組のスローガンの「勝利」は達成できなかったけど、総合の時間に考えたクラスで大事にしたいことの一番に入っていた「団結」は達成できたと思います。団結していたからこそ、全員そろったきれいな歌が歌えるようになったんだと思っています。勝てなくて悔しかったけれど、クラスのみんが悔しいという感情を持って涙を流していたのは、それくらい頑張った証ですごく良いことだと改めて思いました。「本気で頑張ったからこそすごい悔しかった。でも、2週間の練習は全く無駄じゃない」と。むしろ大切な思い出になりました。

今回この合唱コンクールで経験した、クラスの団結力を今後も色々な場面で活かしていきたいです。入試ではお互いをはげまし合えて支え合うことができるといいなと思いました。合唱コンクールを通して学んだ3年C組の団結力の強さを忘れず、それを誇りに思って卒業までの半年、3年C組の全員で沢山のことを乗り越えていきたいです。

進路面談が終了

三者面談が終わりました。自分の進路について真剣に考え、悩み、進学先を探している様子がわかりました。この面談は、ある程度方向性を決めておかないといけないので、今までの面談とは違う緊張感があったことでしょう。いよいよ自分自身で自分の進路を具体的に決めていく時期になりましたね。自分にとってどんな進路が一番良いのか、しっかり考えて選択できるようにしていきましょう。最終面談は、12月にもう一度あります。これは本当に進路の最終決定をしていく面談です。

ヘルマン=ヘッセ

人生を明るいと思うときも

暗いと思うときも

私は決して人生をののしるまい

日の輝きと暴風雨とは

同じ空の違った表情にすぎない

運命は甘いものにせよ

苦いものにせよ

好ましい糧として役立てよう